



水道

## 水道事業は 引き続き町が 運営を

「私の視点」

災害に強い浄水場の新設は重要課題であるが、住民福祉の考えに沿って「安全・安心な水をどのように供給するか」を住民とともに考えるべきではないか。

### 答弁（上下水道課長） 水道所有権は町のものとして運営

問 国は水道事業民営化を勧めているが、品質もよく適正な料金設定ができる公営事業として、引き続き町が運営する必要があると思う。町の考えは。

答（上下水道課長） PPP/PFIといった民間活力を導入する考えはあるが、どこまで委ねるかは精査中である。ただし、水道の所有権は今までどおり町のものとする考えである。

問 建設するときPPP/PFIを用いることはよいが、水を商売にしてはならないと思う。町の考えは。

答（町長） 民営化は利潤を求めることになり、町民の利益に沿わない形になりかねない。社会的富である水を安心安全に供給することは町の責任だと思っている。

問 耐震性を高めた新浄水場建設は必要であると考えますが、建設時期や施設についての具体的な内容は。

答（町長） 既存浄水場西側の用地を新たに取得した上で、全面更新を行う予定である。建設期間は10年、更新事業費は約60億円を想定している。現在、PPP/PFI導入可能性調査において、建設期間、総事業費、発注方法等の再検討をしている。

問 水道料金値上げについて、再検討中とのことだが、値上げにあたり生活困窮世帯は支払い困難になり、給水停止される方が増える可能性がある。水は命の存続に直に関わる。町はセーフティネットを強化する考えはあるか。

答（町長） 公平性の観点から水道料金の減免制

度などの措置は難しいが、セーフティネットの強化について考えていく。

問 住民が主体、自分事と捉えられるよう浄水手法について町民に広く意見を聞いたり、町民と共同したりするなど取り組む考えはあるか。

答（上下水道課長） いろいろな方の意見を聞くことが大切である。パブリックコメントなどで聞いていきたい。

### 新型コロナワクチン接種の副反応

問 新型コロナワクチンのメリットだけでなく、副反応についても住民に周知し、接種するかしないかの判断材料としてもらう考えは。

答（健康福祉課長） 厚生労働省から配布されるチラシを接種券とともに送付し、周知していく。



日本医師会より、接種は個人の判断との発表も。リスクも考慮し接種には慎重な判断を

#### こんな質問もしています

- ・子宮頸がんワクチン接種における安全性や副反応について
- ・新型コロナワクチン接種について



交通

## 新たな公共交通 の概要を問う

「私の視点」

高齢者が買物の荷物を持って家に帰れる位置に停留所を設置し、路線バスと連結して町外の病院や駅へ移動ができるようにする必要があるのではないか。

### 答弁（町長） 2本柱による公共交通を目指す

問 町が目指す公共交通システムとは。

答（町長） 民間事業者を活用し、「通勤や通学に利用しやすい公共交通の確立」と「高齢者や子供が安心して外出できる効率的で持続可能な移動手段の確保」の2本の柱を目的とした公共交通システムの構築を目指している。

具体的には、町内移動については、網目のように公共交通網を展開すること、町外移動については、路線バスを利用しやすい環境を整えることを目指すとともに、運転免許取得前の学生の通学の足として利用できる公共交通を提供できないか検討している。

問 見直しの進捗状況は。

答（町長） 住民ニーズの把握を目的として、タクシー利用補助券の申請者、小・中学生の保護者などにアンケートを実施した。また、移動実態を把握することを目的として、町民の人流データの分析を行っている。現在、アンケートと人流データの調査結果をもとに、玉村町にとってどのような公共交通が適しているかを示した基本設計の素案を作成し、交通事業者と調整を行った上で基本設計案を策定している。

今後は、地域公共交通会議の開催や交通事業者との調整、許認可手続を進めていく予定である。

#### たまむらお知らせメールサービス「メルたま」

問 現在の「メルたま」の普及率は。

答（町長） 現在の「メルたま」の普及率は、5年前の平成30年3月時点で約1,600件だった

が、現在は約5,000件（人口割合14%）となっている。

問 普及率向上の対策は。

答（町長） 「広報たまむら」で案内するほか、今年度、環境安全課で実施している防災関係の出前講座で配布する災害情報一斉送信システム（たまボイス）のチラシに合わせて、「メルたま」のチラシを配布している。また、民生委員や青少年育成推進員などの団体の会議が行われるタイミングでチラシを配布する予定である。

このほかにも、町内の小・中学生の保護者が登録しているメール配信サービス「楽メ」を活用し、小・中学生の保護者にも登録依頼のメールを送る予定である。



QRコードを読み取ると空メールが作成され、「メルたま」が登録できます

#### こんな質問もしています

- ・魅力発信機構の役割について

